


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年2月8日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

| | | | | | |
|---|------------------|------|----|------|---|
| 受付番号 | 第2号 | 質問議員 | 7番 | 瀬戸伸二 |  |
| 件名 | 将来の人口減少問題への取り組みは | | | | |
| 要 旨 | | | | | |
| <p>令和2年1月1日から令和3年1月1日までの当町の人口は、144人減少している。この間に総人口も1万人を割ってしまった。今後10年、山北町の人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計では、大幅な人口減少が見込まれている。</p> <p>さて、1月5日の全員協議会において説明を受けた「山北町都市計画マスタープラン策定の進捗状況について」の中で、令和12年における本町の目標人口は9263人と設定されているが、達成は可能なのだろうか。達成に向けた取り組みが重要と考える。</p> <p>現在コロナ禍にあり、都市部では働き方の変化により、都市部から地方への人口の流出が起きている事は報道により明らかになっている。山北町の将来を考えたとき、今が人口減少にブレーキをかけるチャンスと考え質問する。</p> | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none">1 山北町都市計画マスタープラン（素案）に本町目標人口9263人とあるが、目標達成に向けての具体的取り組みは。2 人口減少が著しい、三保、清水、共和地区の定住対策はどうなっているのか。3 人口減少による無形文化財に係る人材確保及び人材育成はどのようにするのか。 | | | | | |